

中华人民共和国
国家卫生健康委员会



日本財団

中日友好 万古长青
日中友好は永遠に続く



习近平总书记曾说：“中日友好的根基在民间。”中日一衣带水，多年来两国人民互学互鉴，促进了双方卫生事业发展，也为人类健康作出了重要贡献。1986年8月14日，中国卫生部、笹川纪念保健协力财团和日中医学协会共同签署了中日笹川医学奖学金项目第一期协议书，开启项目实施辉煌篇章。历经35年光辉岁月，项目已为我国累计培养了近2400名医疗卫生人才，涌现出4名中国科学院（工程院）院士、20余名医学院校校长、30余名三甲医院院长、100余名享受国务院特殊津贴专家，成为中国医疗卫生领域开展时间最长、规模最大、取得成效最好的国际合作医学人才培养项目，已成为中日卫生领域民间交流合作的典范，为推动两国医学领域的交流与发展，增进两国人民理解，提高两国人民健康福祉水平作出了积极贡献。

回顾历史，是为了更好地走向未来。

项目培养的医学人才回国后，积极投身中国卫生事业建设，在生物学、肿瘤免疫、遗传分子等领域取得创新性成果，为基础医学、临床医学、口腔医学、预防医学、辅助诊疗技术、护理医学、卫生管理与医学信息、中医学、医疗管理等领域的发展做出了积极贡献。衷心希望学成归国的笹川同学们不忘初心，牢记使命，继续为推动卫生事业发展，提高人民的健康福祉水平，增进中日两国人民的相互理解做出更大贡献。

谨以此画册，真诚感谢每位中日笹川医学奖学金项目的推动者和参与者，感谢日本财团、日中医学协会、笹川保健财团、各位学员的指导老师、派出与接收学员的各个单位为本项目的顺利实施所诸的辛勤努力。新时代，期待中日笹川奖学金项目继续扬帆起航，取得更大成绩！

中国国家卫生健康委主任

2023年7月28日

習近平総書記はかつて「日中友好の基礎は民間にある」と述べたことがあります。日中は一衣帯水の関係にあり、長年にわたって相互に学び合い、それぞれに衛生事業の発展を推進し、人類全体の健康にも重要な貢献を果たしてきました。1986年8月14日、中国衛生部、笹川記念保健協力財団、日中医学協会が共同で日中笹川医学奨学金制度第1期協定書に調印し、同制度の輝かしい第一章が始まりました。過去35年に及ぶ輝かしい歳月を経て、同制度は中国のために2,400名近くの医療・衛生分野の人材育成に貢献し、中国科学院（工程院）の会員4名、医科大学の学長20名以上、中国最高レベルである三級甲等病院の病院長30名以上、國務院の特別補助金給付対象となった専門家100名以上を輩出し、中国の医療衛生分野において、最も長い期間にわたり、最も大きな規模で、最高の成果を上げた国際医療人材育成事業となり、日中の衛生分野における民間交流と協力のモデルとなり、両国の医学分野における交流と発展を促進し、国民間の理解を深め、両国民の健康・福祉の水準を向上させるため積極的な役割を果たしてきました。

過去の歩みを振り返るのは、より良い未来に向けて歩むためである。

同制度で教育を受けた2,400名近くの医療人材は、中国帰国後に国の衛生事業の構築に積極的に参加し、生物学、腫瘍免疫、遺伝子等の分野において革新的な成果を挙げ、基礎医学、臨床医学、口腔医学、予防医学、補助診療技術、看護学、衛生管理・医学情報、中薬（漢方）学、医療管理等の分野の発展に積極的に貢献してきました。学習を終えて帰国された同制度留学生の皆さんが、これからも初心を忘れず、自らの使命を肝に銘じ、引き続き衛生事業の発展を促進し、国民の健康・福祉を向上させ、両国の相互理解を深める為に更なる貢献ができるよう心から願っています。

この記念誌をもって、日中笹川医学奨学金制度への推進者と参加者各位に感謝するとともに、日本財団、日中医学協会、笹川保健財団、学生の指導に当たってくださった先生方、学生の派遣・受入を担当してくださった各機関の皆様にも、本制度成功のためご尽力いただいたことに心からの感謝を表明いたします。新しい時代におかれ、日中笹川医学奨学金制度は引き続き帆を上げ出航し、より大きな成果を上げられることが期待されます。

中国国家衛生健康委員会主任

2023年7月28日



值此中日笹川医学奨学金項目35周年华诞之际，我作为项目的倡议人，向中国国家卫生健康委员会主任马晓伟及中日两国有关人士表示衷心感谢。

作为日本的民间组织，与中国开展合作最为重要的着眼点，是能为全中国人民的健康做出贡献，我们正是基于这样的思考开启了这个项目。

参与本项目的每一所日本大学都欣然接收中国留学生，老师们如家长般，对留学生们悉心指导。老师们的热情与留学生们的不懈努力相辅相成，使得本项目的毕业生们成长为中国医学界的骨干力量。在抗击非典和新冠疫情期间，笹川生们奋战在一线，他们的杰出贡献使本项目得到了中国政府的高度评价。

多年来，本项目以日本导师向中国留学生传授日本的医学知识和技术为主，现今本项目顺应时代的要求，开启双方共同研究新纪元。通过攻读博士学位等方式，今后项目将为进一步推动中日两国民间卫生医学交流与友好合作，不断提高中国人民健康水平做出贡献。

日本財団 会長 笹川 陽平



衷心祝贺中日笹川医学奨学金項目迎来35周年华诞。

1987年，第一期百名学员来日深造的情景仍历历在目，仿佛就发生在昨天。在其后的35年里，近2400名医疗工作者、研究人员、大学教授接受项目资助，在日本完成学业归国，活跃在中国各地的医疗服务、公共卫生、医学教研第一线。

笹川生在日期间经历了语言、生活习惯的不同等种种困难，日中医学协会和各位指导老师像亲人一样照顾学员们，我对他们的辛勤付出深表敬意。同时也衷心期待每一位笹川生今后不懈努力，造福中国人民。

日本財団 理事長 滝形 武彦



中日笹川医学奨学金項目始于1986年，赴日学员来自全国各地，人数达2400人，专业涵盖临床医学、口腔学、药学、护理学等领域，是中国高水平医疗卫生合作项目中持续时间最长、人员规模最大的双边合作项目，在人才培养、学术交流、医疗合作等方面取得了巨大成就。

在项目实施期间，中日两国科研人员之间建立了深厚互信，逐渐成为两国医学领域交流的纽带与桥梁。希望今后进一步加深双方互信，继续开展两国卫生医疗领域的交流与合作，努力向全世界推广项目成果，为造福全世界人民的健康做出贡献。

谨以本册纪念项目有关人员35年来的共同努力，希望项目能成为新时代中日医学交流的样板，谨以此向两国有关人员表示衷心感谢。

公益財団法人日中医学協会 会長 菅川 秀興

日中笹川医学奨学金制度が35周年を迎えるにあたり、中国国家衛生健康委員会の馬曉偉主任をはじめ日中の関係者に本事業の発案者として心から御礼申し上げます。

我々は日本の民間組織として中国にどのような協力が出来るのかを考え、最も重要なことは中国人民の皆さんの健康に寄与することであるとの考えに至り、本事業を開始致しました。

日本のどの大学も快く留学生を受け入れて下さり、先生方はまさに親同然の気持ちでご指導下さいました。先生方の熱意と、留学生の弛まぬ努力が相まって、卒業生は中国の医学界を牽引する立派な指導者に成長しています。また、SARSやコロナ禍との闘いのなかで、卒業生が第一線で活躍されるなど、中国政府からも本事業を高く評価いただいています。

これまででは中国からの留学生に対して日本の医学をお教えするということが中心でしたが、今や日本と共同研究をする時代となりました。そして引き続き博士号取得など、時代の要請に合った事業を展開することで、これからも日中の民間交流と友好促進、そして中国人民の健康の為に寄与して参ります。

日本財団 会長 笹川 陽平

日中笹川医学奨学金制度が35周年を迎えられた事に心からお喜び申し上げます。

1987年に第一期生100名を日本にお迎えしたことを昨日の如くに記憶いたしております。以後35年間に2400名を超える医療従事者、研究者、大学教授が日本での研修を終え、現在中国各地で笹川生として公衆衛生、医療機関、大学での学術研究の現場で活躍いたしております。

日本での言葉の違い、生活習慣の違い等多くの困難がありました。それらに対し親身にお世話してきた日中医学協会や指導教官の皆さんの努力に敬意を表したいと思います。そして笹川生の皆さん、これからも国民の為に活躍されることを祈念してご挨拶いたします。

日本財団 理事長 滝形 武彦

1986年にスタートした「日中笹川医学奨学金制度」は、来日した研究者が中国全土の医・歯・薬・看護の全ての領域から延べ2,400人に及びます。中国のハイレベルな医療衛生事業において、期間が最も長く、人員規模が最も大きい二国間協力事業であり、人材育成、学术交流、医療協力の各方面で大きな成果を挙げてきました。

この間、日中両国の研究者は、厚い信頼を築き、両国医学界の架け橋となってきました。今後とも、この良き伝統を大いに広め、日中医学医療の交流と協力を続け、世界に向けて成果を発信し、全世界の人々の健康に貢献することを期待します。

35年に及ぶ本奨学金制度関係者の努力の記録集である本誌が、新しい日中医学交流の道標となることを祈念し、両国の関係者の皆様に深甚なる感謝の意を表します。

公益財団法人日中医学協会 会長 菅川 秀興

把握机遇

好機を生かし
未来を切り開く

开启未来

在王震、朱镕基等往届国家领导人的关心、支持和亲自参与下，1986年8月14日，中国卫生部副部长陈敏章与笹川纪念保健协力财团会长笹川良一、日中医学协会理事长石馆守三在北京人民大会堂签署了中日笹川医学奖学金项目第一期协议，开启中日笹川医学奖学金项目的辉煌征程，这是项目培养人才数量最多的一个时期，为中国卫生健康事业改革和发展作出了积极贡献。

王震、朱鎔基ら歴代の中国指導者の関心、支援、さらに個人的な参与のもと、1986年8月14日、北京人民大会堂において、中国衛生部の陳敏章副部長、笹川記念保健協力財団の笹川良一会長、日中医学協会の石館守三理事長の三者が日中笹川医学奨学金制度協定書に調印し、同制度の輝かしい道程が始まりました。この時期は、笹川奨学金制度が最も多くの人材を育成し、中国の衛生健康事業改革と発展に積極的な貢献を果たした期間となりました。



中华人民共和国副主席王震出席第一期笹川医学奖学金项目协议签字仪式(1986.8.14 北京 人民大会堂)
从左至右依次为日中医学协会理事长石馆守三、笹川纪念保健协力财团会长笹川良一、中华人民共和国副主席王震、中国卫生部副部长陈敏章

中華人民共和国王震副主席が第一次笹川医学奨学金制度協定書調印式へ臨席(1986.8.14 北京 人民大会堂にて)
左から日中医学協会石館守三理事長、笹川記念保健協力財団笹川良一会長、中華人民共和国王震副主席、中国衛生部陳敏章副部長



中日笹川医学奖学金项目第一期协议签字仪式(1986.8.14 北京 人民大会堂)
从左至右依次为日中医学协会理事长石馆守三、笹川纪念保健协力财团会长笹川良一、中国卫生部副部长陈敏章

日中笹川医学奨学金制度第一次協定書調印式(1986.8.14 北京 人民大会堂にて)
左から日中医学協会石館守三理事長、笹川記念保健協力財団笹川良一会長、中国衛生部陳敏章副部長

日本首相中曾根康弘出席第一期项目学员欢迎仪式
(1987.9.29 日本 东京 笹川纪念会馆)

中曾根康弘総理は第一期制度研究者歓迎式典へ臨席
(1987.9.29 日本 東京 笹川記念会館にて)



第十一届全国政协主席贾庆林会见参加本项目20周年纪念活动的日本前首相森喜朗(2007.8.26 北京 人民大会堂)
从左至右依次是日本财团笹川阳平会长、日本前首相森喜朗、第十一届全国政协主席贾庆林

第十一回全国政治協商会議賈慶林議長が本制度20周年記念式典へ臨席の森喜朗元総理と会見(2007.8.26 北京 人民大会堂にて)
左から日本財団笹川陽平会長、森喜朗元総理、政治協商会議賈慶林議長

中日笹川医学奖学金项目第二期协议签字仪式
(1996.8.14 北京 人民大会堂)
签署人:日中医学协会会长冈本道雄(左)、笹川纪念保健协力财团理事长日野原重明(中)、中国卫生部副部长殷大奎(右)

日中笹川医学奨学金制度第二次協定書調印式
(1996.8.14 北京 人民大会堂にて)
署名者:左から日中医学協会岡本道雄会長、笹川記念保健協力財団日野原重明理事長、中国衛生部殷大奎副部長





◀
中日笹川医学奖学金项目第三期协议签字仪式
(2007.8.26 北京 人民大会堂)
签署人:日本财团会长笹川阳平(左)、中国卫生部副部长蒋作君(右)
主要见证人:日本前首相森喜朗(第二排左三),卫生部部长陈竺
(第二排左四)

中日笹川医学奖学金制度第三次協定書調印式
(2007.8.26 北京 人民大会堂にて)
署名者:日本財団笹川陽平会長(左)、中国衛生部蔣作君副部長(右)
主要証人:森喜朗元総理(二列左から三番目)、衛生部陳竺部長
(二列左から四番目)

▶
中日笹川医学奖学金项目第四期协议签字仪式
(2013.5.17 北京 人民大会堂)
签署人:日本财团理事长尾形武寿(左)、国家卫生计生委
副主任马晓伟(右)

中日笹川医学奖学金制度第四次協定書調印式
(2013.5.17 北京 人民大会堂にて)
署名者:日本財団尾形武寿理事長(左)、国家衛生計画生育
委員会馬曉偉副主任(右)

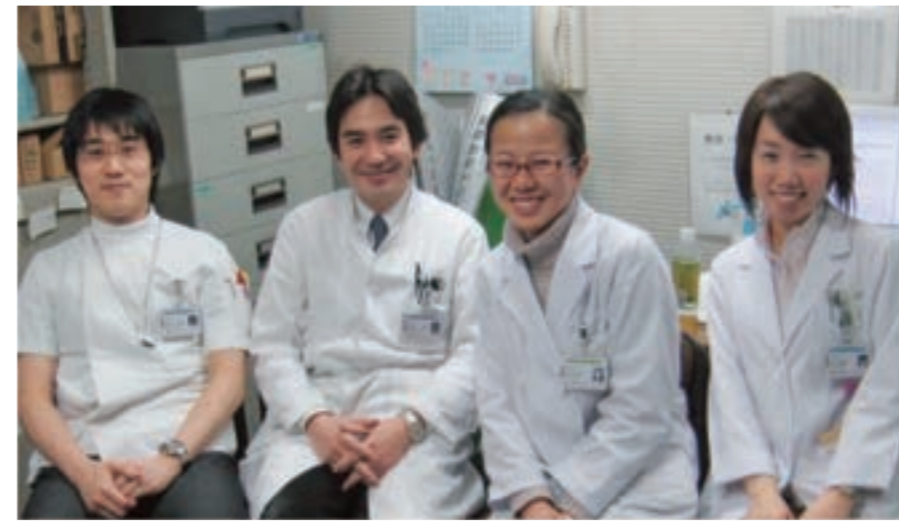
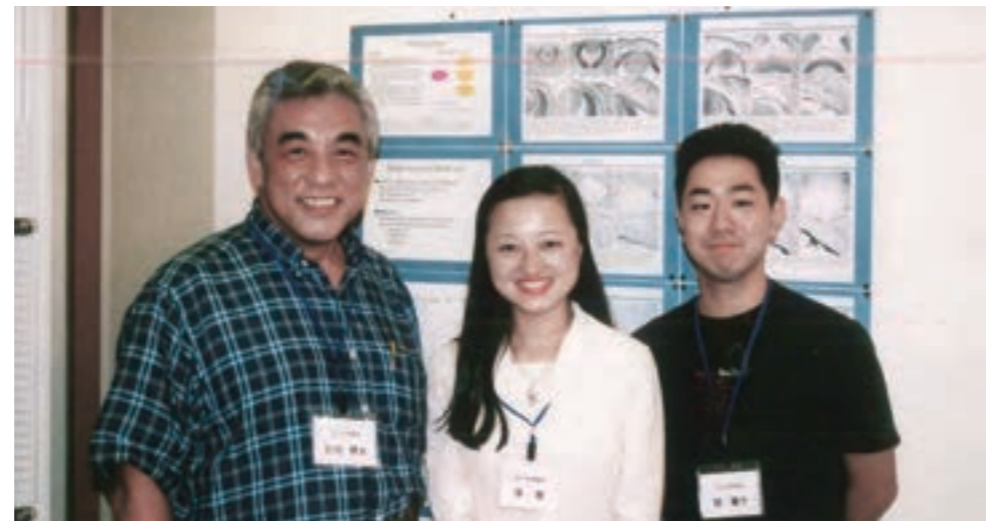


中日笹川医学奖学金项目30周年纪念活动
(2016.10.14 东京 贝尔萨新体育馆)
从左至右依次为国家卫生计生委副主任马晓伟、日本厚生劳动省副大臣古屋范子、日本财
团会长笹川阳平、中国驻日大使程永华、日中医学协会理事长小川秀兴

中日笹川医学奖学金制度30周年記念式典
(2016.10.14 東京 ベルサール新宿グランドにて)
左から国家衛生計画生育委員会馬曉偉副主任、日本厚生労働副大臣古屋範子、日本財
団笹川陽平会長、中華人民共和國駐日本國特命全權大使程永華、日中医学協会小川秀
興理事長

笹川生研修回顧
笹川生の研修の思い出





新时代

新しい時代
新しい発展

新发展

2017年，为了抓住新的时代机遇，实现更高水平的优势互补和互利共赢，在中国国家卫生健康委主任马晓伟的积极倡导下，在日本财团会长笹川阳平、理事长尾形武寿全力支持下，在日中医学协会理事长小川秀兴大力推动下，中日双方签署了中日笹川医学奖学金项目第五期协议，项目顺利实现转型升级，对标高水平人才培养和合作研究，从派遣中方研究员赴日进修学习（1年），升级为赴日攻读博士学位（2-4年）和开展共同研究（3-6个月），项目内容发生了根本性转变。

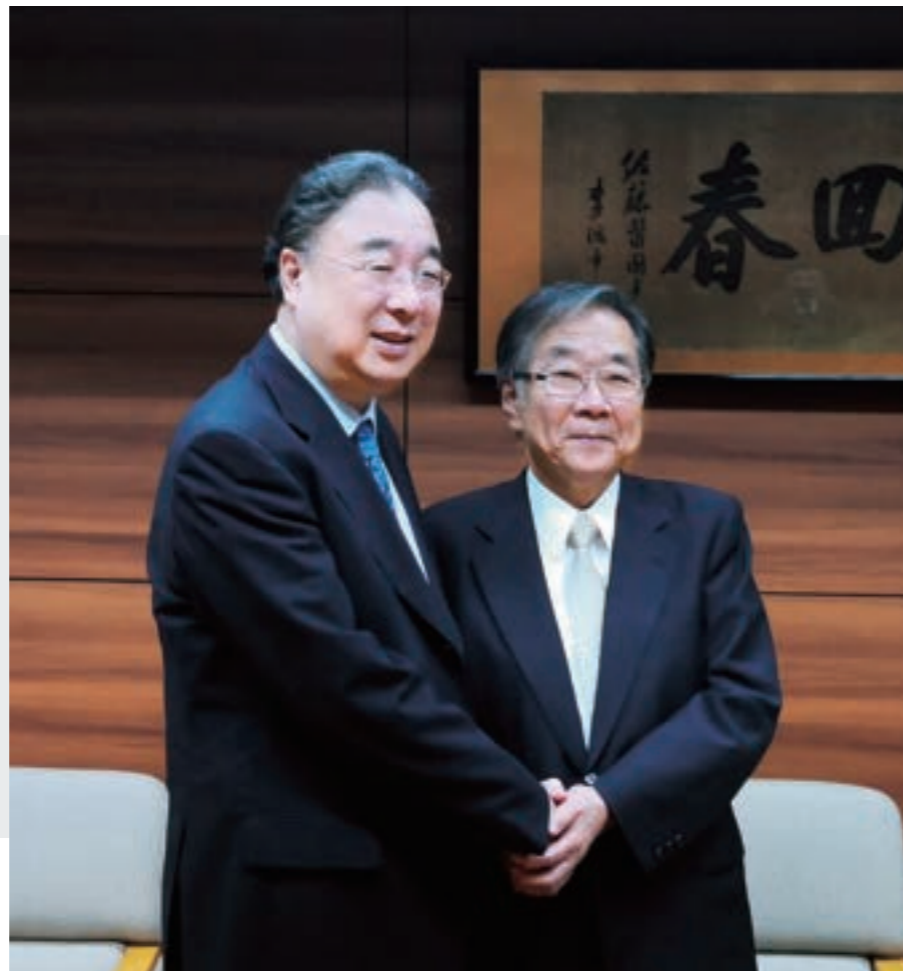
2017年、新しい時代の機会をとらえ、相互補完と相互利益をより高いレベルで実現するため、中国国家衛生健康委員会の馬曉偉主任（保健大臣）の積極的な提唱のもと、日本財団の笹川陽平会長、尾形武寿理事長の全力な支援のもと、日中医学協会の小川秀興理事長の力強い推進により日中双方は、笹川医学奨学金制度第五次制度協定書が締結され、レベルの高い人材育成と共同研究に焦点を当て、中国側の研究者を日本へ派遣し1年間の研修を行うことから、日本での博士課程専攻（2-4年）および共同研究の実施（3-6か月）へとアップグレードさせ、事業内容を抜本的に変更することになりました。



中国国家卫生健康委主任马晓伟在北京会见日本财团会长笹川阳平(2018.9 北京)
中国国家卫生健康委馬曉偉主任が日本財団笹川陽平会長と会見(2018.9 北京にて)



中国国家卫生健康委主任马晓伟在北京会见日本财团理事长尾形武寿(2018.10 北京)
中国国家衛生健康委の馬曉偉主任が日本財団尾形武寿理事長と会見(2018.10 北京にて)



中国国家卫生健康委主任马晓伟在东京会见日中医学协会理事长小川秀兴(2018.6 顺天堂大学)
中国国家衛生健康委員会の馬曉偉主任が東京で日中医学協会小川秀興理事長と会見
(2018.6順天堂大学にて)



中日笹川医学合作项目协议(第五期)签字仪式(2017.2.17 北京 人民大会堂)
从左至右依次为中国医科大学原校长赵群、国家卫生计生委国际司监察专员李明柱、日本驻华大使横井裕、日本财团理事长尾形武寿、国家卫生计生委副主任崔丽、日中医学协会理事长小川秀兴、日中医学协会副会长安达勇、笹川保健财团理事长佐藤英夫

第五次日中笹川医学協力プロジェクト協定書調印式(2017.2.17 人民大会堂にて)
左から元中国医科大学趙群学長、国家衛生計画生育委員会李明柱監査専員、在中国日本国特命全權大使横井裕、日本財団尾形武寿理事長、国家衛生計画生育委員会崔麗副主任、日中医学協会小川秀興理事長、日中医学協会安達勇副会長、笹川保健財団佐藤英夫理事長

中日笹川医学奨学金項目
第42、43期学员成果报告会
(2023.4.13 日本財団大樓)

日中笹川医学奨学金制度
第42、43期研究者研究報告会
(2023.4.13 日本財団ビルにて)



日本財団会長笹川陽平在報告会上致辞
日本財団笹川陽平会長は報告会で挨拶



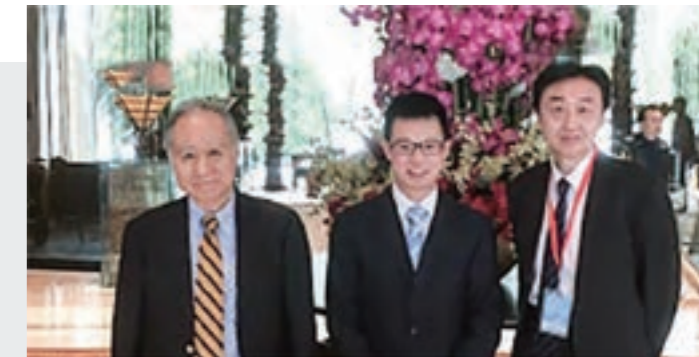
中华人民共和国駐日本国特命全権大使吳江浩在報告会上致辞
中華人民共和國駐日本国特命全権大使吳江浩は報告会で挨拶



日中医学協会理事長小川秀興在報告会上致辞
日中医学協会小川秀興理事長は報告会で挨拶

中日笹川医学合作项目(第五期)
项目学员在日研修生活

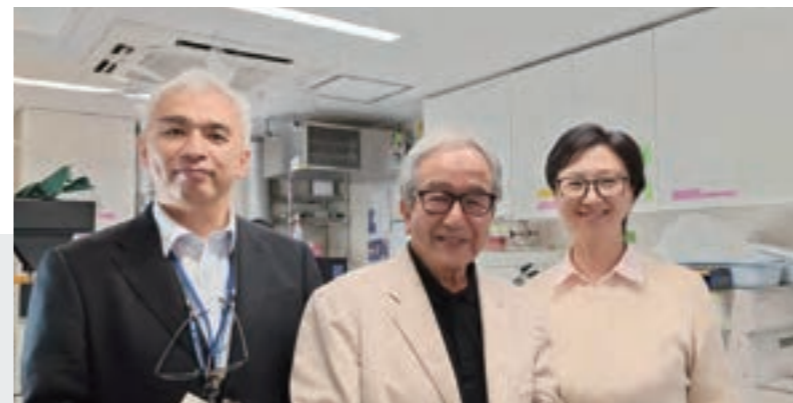
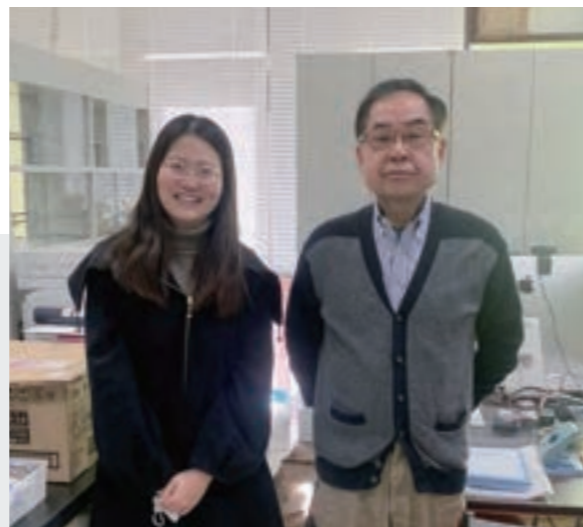
日中笹川医学奨学金制度
第五次制度研究者の日本での研修生活











学成归国



投身中国卫生事业建设

学業を終え帰国し、中国衛生事業の構築に参加

笹川生们学成回国后，不忘项目设立初心、继续提升业务能力，在各自工作岗位上为提高中国人民的健康福祉竭尽所能，成为增进中日两国人民相互理解、推动两国医学交流与合作的重要力量。

笹川生らは学業を終え帰国した後、プロジェクト設立の初心を忘れず、引き続き業務能力の向上を図り、それぞれの職場で中国人民の健康・福祉を向上させる為に全力を尽し、両国国民の相互理解の増進、両国の医学分野における交流・協力の推進の為の重要な力となっている。

中日笹川奖学金项目实施35周年来，有四位学成归国的笹川生立足自身岗位，开拓创新，建功立业，先后当选中国科学院、中国工程院院士。

日中笹川医学奨学金制度を実施して35年来、学業を終え帰国した4名の笹川生は各自の職場に立脚し、開拓・イノベーションに力を入れ、偉業を達成し、相次いで中国科学院、中国工程院の院士に当選されました。



中国科学院院士 段树民 (3期)

在神经生物学领域、尤其是在胶质细胞研究方面成绩显著，在该领域产生重要国际影响。两次获国家自然科学奖二等奖。

神経生物学の分野、特にグリア細胞の研究において顕著な業績を挙げ、当該分野で国際的に重要な影響を与えてきた。同氏は国家自然科学賞2等賞を2回受賞している。



中国科学院院士 魏于全 (8期)

在肿瘤免疫、基因治疗、肿瘤靶向治疗的基础与临床研究上取得创新性成果，所建科研平台成为国家重点实验室与国家协同创新中心。

腫瘍免疫、遺伝子治療、腫瘍標的治療の基礎・臨床研究において革新的な成果を収め、同氏の設立した科学研究プラットフォームは国家重点実験室及び国家協同イノベーションセンターとなった。



中国科学院院士 王松灵 (8期)

在口腔基础研究领域成绩显著，首次发现了硝酸盐转运通道 (Sialin)，阐明其对胃肠、唾液腺等器官具有保护作用，提出“稳态医学 (恒常性医学)”新概念。

口腔基礎研究分野で顕著な業績を挙げ、硝酸塩輸送体 (Sialin) を初めて発見し、この物質が胃腸や唾液腺等の器官に保護作用を有することを明らかにし、「恒常性医学」という新しい概念を提唱した。



中国工程院院士 张学 (11期)

在医学遗传学领域成绩显著，发现了多个遗传性毛囊疾病的致病基因，研究成果获国家自然科学奖二等奖。

遺伝医学の分野において顕著な業績を挙げ、多くの遺伝性毛包疾患の原因遺伝子を発見し、その研究成果によって国家自然科学賞2等賞を受賞しています。

有突出贡献笹川生(顕著な貢献のある笹川生)



孙贵范(1期)
中国医科大学公共卫生学院原院长、二级教授、博士生导师、享受国务院特殊津贴专家

中国医科大学公共卫生学院元院長、二級教授、博士指導教官、國務院特別補助金給付対象専門家



李永国(1期)
原湘雅医学院第二附属医院副院长、二级教授、享受国务院特殊津贴专家

湘雅医学院第二附属医院元副院長、二級教授、國務院特別補助金給付対象専門家



赵树华(4期)
吉林大学中日联谊医院中医科主任、二级教授、博士生导师、享受国务院特殊津贴专家

吉林大学附属中日聯誼病院中医診療科主任、二級教授、博士指導教官、國務院特別補助金給付対象専門家



程伟(5期)
原黑龙江中医药大学常务副校长、博士生导师、二级教授、享受国务院特殊津贴专家、中国中西医结合学会理事

黒龍江中医薬大学元常務副学長、二級教授、博士指導教官、國務院特別補助金給付対象専門家、中国中西医结合学会理事



宋柏林(9期)
原长春中医药大学校长、教授、全国中医院优秀院长

長春中医薬大学元学長、教授、全国中医院優秀病院長



赵群(10期)
原中国医科大学校长、二级教授、博士生导师、中国医师协会副会长、享受国务院特殊津贴专家

中国医科大学元学長、二級教授、博士指導教官、中国医師協会副会長、國務院特別補助金給付対象専門家



王喜军(10期)
黑龙江中医药大学副校长、二级教授、博士生导师、享受国务院特殊津贴专家、获国家技术发明二等奖和国家科技进步二等奖

黒龍江中医薬大学副学長、二級教授、博士指導教官、國務院特別補助金給付対象専門家、国家技術発明二等賞受賞、国家科学技術進歩二等賞受賞



洪炜(10期)
原北京大学医学人文学院原副院长、二级教授、博士生导师

北京大学医学人文学院元副院長、二級教授、博士指導教官



裴海成(6期)
原延边大学附属医院副院长、教授、获“2000年首届中华医学科技奖”

延辺大学附属病院元副院長、教授、“2000年第1回中華医学科学技術賞”受賞



李南方(7期)
原新疆维吾尔自治区人民医院副院长、二级教授、中国高血压联盟副主席、享受国务院特殊津贴专家

新疆ウイグル自治区人民病院元副院長、二級教授、中国高血圧連合会副会長、國務院特別補助金給付対象専門家



郝卫东(7期)
北京大学公共卫生学院院长、教授、博士生导师、享受国务院特殊津贴专家

北京大学公衆衛生学院院长、教授、博士指導教官、國務院特別補助金給付対象専門家



方剑乔(7期)
原浙江中医药大学校长、教授、享受国务院特殊津贴专家、中国针灸学会会长

浙江中医薬大学元学長、教授、國務院特別補助金給付対象専門家、中国鍼灸学会会長



孙大为(10期)
原北京协和医院妇产科副主任、二级教授、享受国务院特殊津贴专家、荣获国家科学技术进步二等奖

北京協和病院産婦人科元副主任、二級教授、國務院特別補助金給付対象専門家、国家科学技術進歩二等賞受賞



张允岭(11期)
中国中医科学院附属西苑医院院长、二级教授、博士生导师、享受国务院特殊津贴专家、荣获国家科技进步二等奖

中国中医科学院附属西苑病院院長、二級教授、博士指導教官、國務院特別補助金給付対象専門家、国家科学技術進歩二等賞受賞



李平(11期)
原中日友好医院临床医学研究所副所长、研究员、主任医师、博士生导师、享受国务院特殊津贴专家、荣获国家科技进步二等奖

中日友好病院臨床医学研究所元副所長、研究員、主任医師、博士指導教官、國務院特別補助金給付対象専門家、国家科学技術進歩二等賞受賞



卢岳华(12期)
原湖南师范大学常务副校长、一级教授、博士生导师、中国中西医结合学会理事

湖南師範大学元常務副学長、一級教授、博士指導教官、中国中西医结合学会理事



李松(8期)
昆明医科大学校长、二级教授、博士生导师、享受国务院特殊津贴专家、云南省医学学会副会长

昆明医科大学学長、二級教授、博士指導教官、國務院特別補助金給付対象専門家、雲南省医学学会副会長



李显筑(8期)
黑龙江省中医药科学院副院长、二级教授、博士生导师、享受国务院特殊津贴专家

黒龍江省中医薬科学院副院長、二級教授、博士指導教官、國務院特別補助金給付対象専門家



高思华(8期)
原北京中医药大学校长、二级教授、博士生导师、享受国务院特殊津贴专家

北京中医薬大学元学長、二級教授、博士指導教官、國務院特別補助金給付対象専門家



韩晶岩(9期)
北京大学医学部中西医结合学系主任、中西医结合研究院院长

北京大学中西医结合研究院院長、教授、博士指導教官、世界中医薬学会血氣専門委員会会長



王国辰(13期)
中华中医药学会副会长兼秘书长、研究员、中国中药出版社原社长、享受国务院特殊津贴专家

中華中医薬学会副会長兼秘書長、研究員、中国中医薬出版社社長、國務院特別補助金給付対象専門家



许顺(15期)
中国医科大学附属第一医院胸外科主任、二级教授、享受国务院特殊津贴专家

中国医科大学付属第一病院胸部外科主任、二級教授、國務院特別補助金給付対象専門家



韩英(15期)
原北京军区总医院副院长、二级教授、享受国务院特殊津贴专家

北京軍区総病院元副院長、二級教授、國務院特別補助金給付対象専門家



陈大义(17期)
原成都中医药大学原校长、免费为四川省45个贫困县培养3000名乡村医生

成都中医薬大学元学長、無料で四川省45の貧困県の為に3000名の郷村医師を育成

部分享受国务院特殊津贴笹川生
国务院特別補助金給付対象となった笹川生(一部)



盛迅伦 (17期)
教授、博士生导师、获中华眼科学会奖、中国优秀眼科医师称号

教授、博士指導教官、中華眼科学会賞受賞、中国優秀眼科医師称号を獲得



胡秀英 (18期)
四川大学华西护理学院原院长、教授、主任护士、博士生导师、美国科学院外籍院士

四川大学華西看護学院院長、教授、主任看護師、博士指導教官、米国科学院外国籍院士



吴龙仁 (20期)
云南省第一人民医院副院长、教授、博士生导师

延辺大学付属病院元副院長、教授、博士指導教官



郭强 (20期)
云南省第一人民医院副院长、二级教授、享受国务院特殊津贴专家

雲南省第一人民病院副院長、二級教授、國務院特別補助金給付対象専門家



武新安 (21期)
兰州大学附属第一医院、教授、博士生导师

蘭州大学附属第一病院、教授、博士指導教官



姚继红 (21期)
大连医科大学药学院副院长、教授、博士生导师

大連医科大学薬学院副院長、教授、博士指導教官



李昌平 (21期)
西南医科大学附属医院消化内科主任医师、享受国务院特殊津贴专家

西南医科大学付属病院消化器内科主任医師、國務院特別補助金給付対象専門家



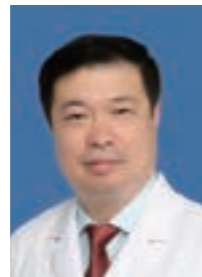
马迎华 (23期)
北京大学儿童青少年卫生研究所教授、中国健康促进与教育学会学校分会主任委员

北京大学兒童青少年衛生研究所教授、中国健康促進と教育学会学校分会会長



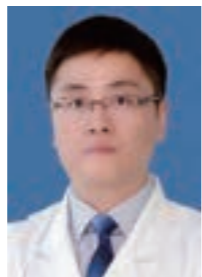
胡敏 (25期)
吉林大学附属口腔医院院长、教授、博士生导师、享受国务院特殊津贴专家

吉林大学付属口腔病院院長、教授、博士指導教官、國務院特別補助金給付対象専門家



顾锐 (28期)
吉林大学第三附属医院副院长、教授、获吉林省突出贡献专家称号

吉林大学第三付属病院副院長、教授、吉林省特別貢獻専門家称号を獲得



胡中杰 (31期)
首都医科大学附属北京佑安医院副院长、教授、获中国研究型医院学会肝病专业委员会常务理事

首都医科大学付属北京祐安病院副院長、中国研究型病院学会肝疾患専門委員会常務委員



金铁峰 (33期)
延边大学医学院副院长、教授、博士生导师、中国高等教育学会医学教育专业委员会理事

延辺大学医学院副院長、教授、博士指導教官、中国高等教育学会医学教育専門委員会理事

期别	姓名	单位名称	职务/职称
1	李永国	中南大学湘雅二医院	副院长
1	殷凯生	南京医科大学第一附属医院	科主任
1	严律南	四川大学华西医院	科主任
1	李廷谦	四川大学华西医院	主任医师
1	孙贵范	中国医科大学公共卫生学院	院长
1	苏海	南昌大学第二附属医院	主任医师
2	周正	应急总医院	副院长
2	廖卫平	广州医科大学附属第二医院	研究所所长
2	吴勇杰	兰州大学药学院药理学研究所	教授
2	羊惠君	成都医学院	科主任
2	赵莲茹	大连大学附属新华医院	科主任
3	于世龙	华中科技大学协和医院	教授
3	牛建昭	北京中医药大学	副校长
3	段树民	浙江大学医学院 浙江大学	院士
4	孙善全	重庆医科大学附属一院	教授
4	王北婴	国家中医药管理局中医师资格认证中心	中心主任
4	臧伟进	西安交通大学	副院长
5	程伟	哈尔滨商业大学	副校长
5	王钢	南京博大肾科医院	院长
6	周彩存	上海市肺科医院	主任
6	王宇明	第三军医大学西南医院	主任
6	程晓曙	南昌大学第二附属医院	首席专家
6	丁国华	黑龙江省健康管理服务评价中心	主任
7	林玲	福建医科大学附属第二医院	院长
7	米振国	山西省肿瘤医院	主任医师
7	郝卫东	北京大学公共卫生学院	党委书记
8	李松	昆明医科大学	校长
8	李显筑	黑龙江省中医药科学院	副院长
8	李晓阳	哈尔滨市第一医院	副院长
8	王松灵	首都医科大学	院士
8	魏于全	四川大学	院士

期别	姓名	单位名称	职务/职称
9	张建新	四川大学	教授
10	玛依努尔尼牙孜	新疆维吾尔自治区人民医院	副院长
10	王喜军	黑龙江中医药大学	副校长
10	赵群	中国医科大学	校长
11	杨黄恬	中国科学院上海营养与健康研究所	研究员
11	黄志力	复旦大学上海医学院药理学系、医学神经生物学国家重点实验室	系主任
11	李平	中日友好医院	副所长
11	张学	哈尔滨医科大学	院士
12	赵卫国	上海交通大学附属瑞金医院	主任医师/教授
13	王鸣	广州市疾病预防控制中心	主任医师
13	张锦	宁夏医科大学总院	主任医师
13	王国辰	中华中医药学会	研究员
14	李建强	山西医科大学第二医院	副主任
15	毕振强	山东省疾病预防控制中心	主任医师
15	李兴	山西医科大学第二医院	教授
15	许顺	中国医大一院	科主任
16	张志文	同济大学附属上海市第四人民医院	主任医师
19	金春林	上海市卫生和健康发展研究中心	副处长
20	郭强	云南省第一人民医院	副院长
20	夏虹	南部战区总医院	科主任
21	张民伟	厦门大学附属第一医院	科主任
21	李昌平	西南医科大学附属医院	主任, 副院长
21	焉传祝	山东大学齐鲁医院	教授
22	王文萍	辽宁中医学附属医院国家药物临床实验机构	教授
22	张军平	天津中医药大学第一附属医院	主任
23	杨志明	山西医科大学第二医院	主任医师
23	林世德	遵义医学院附属医院	副教授
25	胡敏	吉林大学口腔医学院	院长
25	张存泰	华中科技大学同济医院	科主任
40	张晓昀	黑龙江省中医药科学院	科主任
.....			

基层医疗扶贫活动
地域医療支援活動



冉玉平(4期)带领基层医生查房(2021.7 雅安职业技术学院)
冉玉平(4期)診療指導(2021.7 雅安職業技術学院にて)



李南方(7期)在诊疗(2020.10 新疆和布克赛尔县人民医院)
李南方(7期)が診療中(2020.10 新疆和布克赛尔県人民病院にて)



西安交大超声培训班(2017 西安交通大学第一附属医院)
西安交通大学超音波研修(2017 西安交通大学第一附属病院にて)



孙大为(10期)在指导学员(2015.8 北京协和医院)
孫大為(10期)研修指導(2015.8 北京協和病院にて)



指导基层医师进行内镜操作训练(2023.3 中国医科大学二院)
末端医療人員に内視鏡操作トレーニングを指導
(2023.3 中国医科大学二院にて)



孙立波(19期)在指导基层医师进行腹腔镜模拟操作
(2019.8 吉林大学附属中日联谊医院)
孫立波(19期)腹腔鏡ハンズオントレーニング
(2019.8 吉林大学附属中日联谊病院にて)

临床实用技能培训
診療技術技能研修

学术交流會
支部學術會議



笹川生学术交流會(2020 廣州)
笹川生學術會議(2020 廣州にて)



笹川生華中地區學術研討會(2022 天津)
笹川生華中地區學術會議(2022 天津にて)

中日醫學高端論壇
日中醫學ハイエンドフォーラム



北京大學中西醫結合學系主任韓晶岩在講演(2020 北京)
北京大學中西醫結合學部韓晶岩部長の講演(2020 北京にて)



日本駐華使館書記官伊藤秀俊在大健康論壇致辭(2020 北京)
在中國日本國大使館一等書記官伊藤秀俊の挨拶(2020 北京にて)



中日醫學高端論壇(2020 北京)
日中醫學ハイエンドフォーラム(2020 北京にて)

笹川生感言

中日笹川医学奖学金项目与我们结缘35载，帮我走出国门，开阔视野。结识新朋老友。感恩中日笹川医学奖学金项目，感恩中国。（陆小左 6期）

我们是母子，又是笹川生的前辈和晚辈，母子同庆中日笹川医学奖学金项目35周年，值得我们自豪终生。虽然时代在变，但中日笹川医学奖学金项目这个温暖的大家庭对我们的帮助与鼓励一直都在。希望中日笹川医学奖学金项目能继续传承下去。（金木兰 13期、赵申 41期）

30年前我们走出了当时还比较闭塞落后的国内医疗科技环境，归国后奉献于我钟爱的中医和中西医结合事业直至今日。可以说，我们未负青春，未负机遇！感恩中日笹川医学奖学金项目给我打开一扇窗，开辟一条路。（孙伟 18期）

中日笹川医学奖学金项目与我，恩重如山。精诚博思，笃信力行。深研医药，仁济众生。（李敏 21期）

2003年的春天，是一个激情澎湃的季节。在日本的1年时间，让我不仅在专业水平上突飞猛进，在人文、社会以及对人生的领悟也变得更深。这是我一生中最为宝贵的财富。深深感谢中日笹川医学奖学金项目。（刘萍 25期）

在最美好的年龄，遇见中日笹川医学奖学金项目：第一次外地求学；第一次走出国门；第一次发表SCI文章……因为中日笹川医学奖学金项目，结识了许多优秀的同道。感谢中日笹川医学奖学金项目，让我看到不一样的风景，一路伴我成长。（黄啸 25期）

中日笹川医学奖学金项目是一扇神奇的门，一年的研修丰富了我医学的知识，更让我明白，“先生”这个对医者的称呼是“一个生命对另一个生命完全托付”的承诺。（宋黄鹤 34期）

中日笹川医学奖学金项目于1986年启动，同一年我出生在抚顺。2019年我有幸成为中日笹川医学奖学金项目中的一员，这一刻我与中日笹川医学奖学金项目有了交集，我们的生命是同步的。（孟雪 41期）

香樟树遍布柏市的街头，身在其中如同在故乡衡样。感恩中日笹川医学奖学金项目，让我“身在他乡如在故乡”。（谢桥生 42期）

……

笹川生からのメッセージ

日中笹川奨学金制度にお世話になって35年。私が海外に出て、視野を広げる助けになってくれました。新旧様々な友人と知り合うことができたのも、日中笹川医学奨学金制度のおかげです。日中笹川医学奨学金制度と中国に感謝いたします。（陸小左・6期）

二代にわたる「笹川愛」を。私たちは母子であるとともに、笹川医学同窓生としての先輩・後輩でもあり、この制度の35周年を母子で共にお祝いできたことは私たちの生涯の誇りです。時代が移り変わっても、日中笹川医学奨学金制度で結ばれた暖かい大家族は、私たちにずっと支援や励みを与えてくれました。日中笹川医学奨学金制度がこれからも受け継がれていくことを願っています。（金木蘭・13期、趙申・41期）

30年前、私たちは当時まだまだかなり閉鎖的で遅れていた中国の医療・科学技術環境から離れて学ぶ機会を得ました。帰国後、今日この日に至るまで、私の愛する中国医学と西洋医学の融合事業に専念してきました。私たちは期待に背かず、それぞれの青春を全うし、チャンスを十分に活かしたとすることができます！私のために窓を開き、道を作ってくれた日中笹川医学奨学金制度に感謝しています。（孫偉・18期）

2003年の春は、私にとって情熱の沸き上がる季節となりました。日本で過ごした1年間は、私の専門技術を飛躍的に向上させただけでなく、人文、社会そして人生に対する理解をさらに深めさせるものとなりました。これは私の一生の中で最も貴重な財産です。日中笹川医学奨学金制度に深く感謝いたします。（劉萍・25期）

私が日中笹川医学奨学金制度から受けた恩はまさに「重きこと山の如し」です。この恩を誠実に思いに留め、これからも心を込めて力を尽くしていきたいと思います。医学・薬学を深く研究し、多くの人々を救うために努力してまいります。（李敏・21期）

私は最も素晴らしい年齢の時に日中笹川医学奨学金制度に出会うことができました。この制度によって、初めて故郷を離れて勉強し、初めて海外へ行き、初めてSCI論文を発表しました。日中笹川医学奨学金制度のおかげで、志を同じくする多くの優秀な仲間と知り合うことができました。私に異なる世界を見せてくれ、私の成長を傍でずっと見守ってくれた日中笹川医学奨学金制度に感謝いたします。（黄嘯・25期）。

日中笹川医学奨学金制度は一つの「奇跡の扉」であり、一年間の研修によって私の医学知識はより豊富なものとなり、医師に対する「先生」という呼称には、「一つの生命をもう一つの生命に完全に預ける」ことに同意する、という深い意味があることをより一層理解するようになりました。（宋黄鹤・34期）。

日中笹川医学奨学金制度が始まった1986年は、私が撫順に生を受けたのと奇しくも同じ年です。2019年、私はこの奨学金制度を活用させていただき幸いを得、これを機に私の人生と笹川奨学金制度が出会い、以後共に歩むことになりました。（孟雪・41期）

柏市の至る所に植えられたクスノキは、ふるさとにいるような気持ちにさせてくれました。異郷でありながら故郷のような街に私を連れてきてくれた日中笹川医学奨学金制度に感謝しています。（謝橋生・42期）

…

中日笹川医学奖学金项目研究员的全国分布图(日中笹川医学奨学金制度研究者の全国分布図)

(单位=人)

区域	省名	第一期协议	第二期协议	第三期协议	第四期协议	第五期协议	合计
华北区	北京	126	120	38	5	20	309
	天津	45	24	0	3	3	75
	河北	21	17	0	0	1	39
	山西	15	12	0	2	2	31
	内蒙古	10	7	0	1	2	20
	小计	217	180	38	11	28	474
西南区	四川	52	35	4	10	20	121
	贵州	5	3	0	1	4	13
	云南	9	8	0	1	1	19
	西藏	2	0	0	0	0	2
	小计	68	46	4	12	25	155
华东区	上海	58	66	21	3	16	164
	江苏	55	34	18	1	7	115
	浙江	21	18	5	1	3	48
	安徽	12	7	2	0	4	25
	福建	19	20	3	2	2	46
	江西	18	5	0	3	0	26
	山东	52	37	8	2	3	102
	小计	235	187	57	12	35	526



(单位=人)

区域	省名	第一期协议	第二期协议	第三期协议	第四期协议	第五期协议	合计
华中、华南区	河南	24	16	1	3	3	47
	湖北	25	9	1	1	1	37
	湖南	26	8	1	0	4	39
	广东	32	66	15	6	6	125
	广西	11	1	0	0	2	14
	海南	11	3	1	0	1	16
	小计	129	103	19	10	17	278
东北区	辽宁	120	76	3	10	16	225
	吉林	100	80	7	2	6	195
	黑龙江	51	35	7	1	6	100
小计	271	191	17	13	28	520	
西北区	陕西	42	49	13	3	9	116
	甘肃	19	6	0	0	2	27
	青海	4	4	0	0	0	8
	宁夏	6	7	2	1	1	17
	新疆	9	9	0	0	1	19
小计	80	75	15	4	13	187	
综合计		1000	782	150	62	146	2140
特别研究者							256
合计							2396



新篇章 再启航

新たな始まり

顺应新时代中国卫生事业发展要求, 聚焦高端卫生人才培养, 中国国家卫生健康委与日本财团、日中医学协会于2023年7月28日在北京人民大会堂签署中日笹川医学合作项目(第六期)协议。
新时期, 中日笹川奖学金项目将扬帆再起航, 铸就新辉煌。

新しい時代における中国衛生事業の発展という要求に答え、ハイエンド人材の育成に焦点を当て、中国国家衛生健康委員会、日本財団、日中医学協会は、2023年7月28日北京人民大会堂にて日中笹川医学協力プロジェクト(第六次)協定書に調印しました。

新しい時代に向けて、日中笹川医学奨学金制度は帆を上げてまた出航し、新しい輝きを鑄造することが望まれます。

